

第40回（平成19年度）岡山県三木記念賞及び同助成金
受賞者の決定と授与式の挙行について

1 事業の概要及び経過

(1) 岡山県三木記念事業

故岡山県知事三木行治氏が受賞されたマグサイサイ賞の賞金を原資として広く一般から浄財を募り、岡山県三木記念事業基金を設け、同氏の業績をたたえるとともに、その人間愛に満ち公共奉仕に徹した精神を生かす目的で、地域社会の発展に貢献したものを顕彰し（個人）又は助成する（団体）ものである。

なお、昭和43年が第1回であり、本年度が第40回である。

(2) 受賞者決定までの経過

- ・ 4月13日（金） 実施要領発表
- ・ 5月18日（金） 推薦締切り <候補者（団体）数>

三木記念賞の部	15人
三木記念助成金の部	11団体

- ・ 7月 4日（水） 第1回運営審議会……受賞候補者選考の諮問
- ・ 7月31日（火） 第2回運営審議会……受賞候補者の選考及び答申

2 第40回（平成19年度）岡山県三木記念賞及び同助成金受賞者

(1) 岡山県三木記念賞（表彰状・メダル及び賞金30万円）

部 門	氏 名	年 齢	役 職 等
行 政	たかはし かつあき 高橋 克明	81	元岡山大学学長、元岡山県立大学学長
社 会	あかえだ いくろう 赤枝 郁郎	84	心臓病センター榊原病院医師
産 業	該当なし		
文 化	の と やすゆき 能登 靖幸	84	洋画家
国際親善	該当なし		

(2) 岡山県三木記念助成金（表彰状及び助成金50万円）

部 門	団 体 名	代 表 者
行 政	該当なし	
社 会	社団法人岡山県知的障害者福祉協会	会長 檜尾 博
産 業	星の郷青空市株式会社	代表取締役 張谷 和弘
文 化	日本工芸会中国支部	支部長 佐々木 勝美
国際親善	該当なし	

3 授与式

- (1) 日 時 平成19年8月31日（金）午前11時から
- (2) 場 所 岡山市古京町1-1-10
岡山衛生会館「5階中ホール」

三木記念賞

行政部門

岡山市浜

たか はし かつ あき

高橋 克明 (81歳)

1 主な経歴

- | | | |
|-------|-----|--------------------------------------|
| 昭和38年 | 7月 | 岡山大学工学部教授 |
| 昭和57年 | 11月 | 岡山県公害対策審議会会長(平成6年7月まで) |
| 昭和58年 | 10月 | 中国武漢建築材料工業学院名誉教授 |
| 昭和62年 | 6月 | 岡山大学学長、岡山大学医療技術短期大学部学長
(平成5年6月まで) |
| 平成元年 | 5月 | 大学設置・学校法人審議会委員(平成7年4月まで) |
| 平成5年 | 6月 | 岡山県私立学校審議会会長(平成18年4月まで) |
| 平成8年 | 4月 | 岡山県立大学学長(平成12年3月まで) |
| 平成9年 | 4月 | 岡山県行財政改革懇談会会長(平成10年3月まで) |
| 平成12年 | 7月 | 岡山県三木記念事業基金運営審議会会長(平成18年6月まで) |

2 功績の概要

氏は、岡山大学助教授、同教授として、後進の指導に専心するとともに、大学運営においても、工学部長、学生部長、附属図書館長などを歴任し、昭和62年から岡山大学学長として、約6ヶ年にわたり大学運営に尽力し、大学設置・学校法人審議会の委員等を努めるなど、我が国の大学教育全体の改革・充実に多大な貢献を果たした。

平成8年度からは、岡山県立大学の第2代学長として大学の体制固めを担い、本県の大学教育運営に果たした功績は誠に大きい。

さらに、岡山県行財政改革懇談会会長として、厳しい岡山県財政の健全化に向けて尽力した他、岡山県私立学校審議会や三木記念事業基金運営審議会の会長としても活躍するなど岡山県行政の推進に多大なる貢献を果たしており、その功績は顕著である。

三木記念賞

社会部門

岡山市あけぼの町

あか えだ いく ろう

赤枝 郁郎 (84歳)

1 主な経歴

昭和19年	3月	岡山大学医学専門学部卒
昭和25年	4月	皮膚科・泌尿器科開業（平成14年まで）
昭和51年	4月	岡山家庭裁判所調停委員（平成6年3月まで）
昭和58年	8月	岡山市教育委員（平成4年8月まで）
昭和59年	3月	岡山保護司選考委員（平成15年1月まで）
昭和61年	12月	岡山市教育委員長（昭和62年12月まで）
平成元年	12月	同上（平成2年12月まで）
平成14年	10月	心臓病センター榊原病院医師（現在に至る）

2 功績の概要

氏は、医師として活躍するかたわら、岡山家庭裁判所調停委員や司法保護司選考委員を歴任するとともに、昭和58年から9年間にわたり岡山市教育委員を努めた。

自ら制作した泥仏のチャリティ展の益金により「岡山市どろんこ教育賞」「岡山県さわやか教育賞」の制定を働きかけ、それぞれ、市、県において事業化された。

これらの事業は、日々地道に活動を続け、教育を陰で支える者を顕彰するものであり、氏の教育に対する深い理解と情熱を具現化したものである。

また、氏は、同チャリティ展の浄財により、幼稚園児の保護者を対象にしたコンサートの開催や、岡山県福祉基金（愛のともしび基金）への寄附など福祉活動にも献身的に取り組むなど、本県教育・福祉の充実に対する貢献度は多大なものがあり、その功績は顕著である。

三木記念賞

文化部門

倉敷市西阿知町

の と やす ゆき

能登靖幸 (84歳)

1 主な経歴

- 昭和21年 倉敷市万寿国民学校訓導 (学制改革により万寿小学校教諭)
- 昭和38年 東光会審査員
- 昭和48年 岡山県美術展覧会洋画部門審査員 (平成15年まで)
- 昭和56年 岡山大学教育学部教授
- 昭和58年 東光会理事
- 昭和63年 就実短期大学教授 (平成5年まで)
- 平成8年 第28回日展審査員
- 平成19年 東光会名誉会員

2 功績の概要

氏は、昭和21年より倉敷市万寿国民学校訓導となり、本格的に洋画を学び、昭和22年、東光展に出品し入選を果たした。

以後、東光会会員、東光会審査員、東光会常任審査員を努め、昭和58年からは東光会理事、平成19年には名誉会員に選ばれている。

また、昭和25年には日展に出品し入選。日展では、昭和51年の「塔」と昭和56年の「漁村」で2度にわたり特選となるなど、独特な点描を重ねて描いた風景画が高い評価を受けており、平成8年の第28回日展では審査員をつとめ、平成9年には日展会員となっている。

氏の活動は各方面から高く評価され、山陽新聞賞や紺綬褒章、岡山県文化賞など数々の賞を受けている。

氏は、60年の永きにわたり創作活動に情熱を傾け、数々の作品を発表するとともに後進の育成にも熱心に取り組んできており、岡山県の文化向上に貢献した功績は顕著である。

三木記念助成金

社 会 部 門

名 称 社団法人岡山県知的障害者福祉協会
代表者 会長 檜尾 博
所在地 岡山市南方2-13-1
(岡山県総合福祉・ボランティア・NPO 会館内)

1 概 要

本協会は、知的障害者の人権を尊重し、知的障害者に関する支援、啓発及び調査研究等の事業を行い、もって知的障害者の福祉増進に寄与することを目的としており、昭和38年の設立以来、長年にわたり、県内の知的障害者福祉の向上に多大な貢献を果たしている。

2 業 績

本協会は、長年にわたり知的障害者の福祉向上に関する事業の実施、入所者の処遇、施設の運営等の調査研究、施設職員の資質向上のための研修会の実施など、県内の知的障害者福祉の向上に多大な貢献をしてきた。

これまで県障害者スポーツ大会において、多数の競技参加を実現するとともに、係員の派遣等の協力を行い、大会の運営に多大な貢献を果たしている。

さらに一昨年度の全国障害者スポーツ大会では、選手の強化育成に努め、大会での好成績に寄与するとともに、多くの役員、ボランティアを派遣するなど、大会の成功に大きく貢献した。

また、知的障害者福祉の地域での理解促進等を目的に、施設利用者の作品展示、授産品販売等を行う「ゆうあい福祉展」の開催や、施設での活動内容の向上等を目的に、音楽演奏、ダンス等を行う「ゆうあい文化祭」の開催など文化活動にも積極的に取り組んでいる。

三木記念助成金

産 業 部 門

名 称 星の郷青空市株式会社
代表者 代表取締役 張谷 和弘
所在地 井原市美星町西水砂 5 5 - 1

1 概 要

町内で生産される野菜などの農産物や加工品を直売する「星の郷青空市」を運営し、農家所得の確保・増大を図るとともに、地域情報を発信し、都市との交流を拡大するなど地域産業の発展に大きく貢献している。

2 業 績

星の郷青空市は、昭和62年、小さなテントひとつから産声をあげ、青年農業者の地道な努力により、現在では、岡山県で最上位を争う売り上げを誇っている。

「地産地消」、「農産物直売所」という産業ジャンルにおける岡山県のパイオニアであり、平成6年には、県下初の株式会社として法人化し、そのノウハウは、他の直売所の開設や運営、地産地消の推進の手本となっている。

また、みそやジャム等地元農産物を材料とした6次化産品を開発、販売するなど農業の6次産業化へ貢献するとともに、「おかやま有機無農薬農産物」を生産し、食の安全・安心にも積極的に取り組んでいる。

さらに、その集客力を生かし、テーマパーク「中世夢が原」、「天文台」と一体的な観光資源として、また都市住民との交流の場として、地域の活性化に大きく貢献している。

三木記念助成金

文化部門

名 称 日本工芸会中国支部
代表者 支部長 佐々木 勝美
所在地 岡山市柳町2丁目1-1

1 概 要

当支部は、伝統工芸作家・技術者相互の連絡を密にし、その技術の錬磨に資するとともに、伝統工芸の精髓を極め、その技術の保存と活用を図り、かつその発展を期し、もって文化の向上に寄与することを目的とし、研究会活動や展覧会を通じて会員の技術の向上や若手の育成に努めるとともに、伝統工芸の次世代への普及にも積極的に取り組んでいる。

2 業 績

当支部は、日本工芸会の地方支部として昭和32年に発足し、本年50周年を迎える。平成19年4月現在の会員は、288人（うち岡山県217人）で山口県を除く中国地方4県に住む陶芸、染織、漆芸、木竹工、金工、人形、七宝の各分野の工芸家に広がっている。

毎年岡山市など3会場を巡回する支部展を開催し、広く工芸作品を公募し、厳密な審査の上、入選作品を広く展示し若手の育成に努め、また、各分野毎の研究会活動や展覧会を通じた会員相互の交流により、会員の技術の向上に努めている。

また、ワークショップや子ども向けパンフレットの作成など、伝統工芸の次世代への普及事業にも取り組んでいる。

これまで県内において6人の人間国宝を輩出するとともに、伝統工芸の裾野を広げる成果をあげており、本県伝統工芸の振興に寄与している。